

活動場所：鶴岡市黄金地区

団体の紹介

鶴岡市市街地南西部、金峯山麓及び母狩山麓に位置する黄金地区にて、放棄林問題や竹害、土砂災害、獣害、不法投棄等、里山におけるさまざまな課題に取り組むとともに、里山のフィールドを活かした幅広い年齢層を対象とした教育活動を行う団体です。

今年度の活動内容：竹林整備（竹害予防）活動

5月～7月、9月～11月の土日、電線に掛かったり隣地へ侵入したりして支障となっている竹を除伐するとともに、その原因となっている放棄竹林を強度に間伐しました。



作業後
⇒



— 伐採竹の利用方法 —

①竹チップ化



※発酵させ、土壌改良材として利用しました。孟宗等の生長に良い効果が期待できます。

②ポース竹炭化



※竹を炭素化（バイオ炭）し土壌改良材として利用することで、土壌への炭素貯留を図ることができます。これは、「カーボン・ニュートラル（部分的には「カーボン・マイナス）」であるとともに、世界的な「4パーミル・イニシアティブ」の運動にも適合する方法です。

③竹材



竹灯籠

いかだ

※「山形県金峰少年自然の家」での体験活動や各種工作に利用していただきました。

○その他、山林内の不法投棄物の撤去、金峯山の皆伐跡地の現地踏査を実施しました。

活動を実施しての感想等

今年初めに団体を立ち上げ、地域の方から要望がありました竹林整備活動を、主に春と秋に行いました。活動を通して、私たちの地域がさまざまな問題を抱えていることを再確認しました。里山には、高齢化や人手不足が原因で放棄された森林や竹林、果樹林が多く散見されます。そしてそれが、土砂災害や獣害等の問題を引き起こす一因になっています。こうした状況は、山形県内のどこの里山でも同様だと推測します。

そうした中において、私たちの活動が地域にとってひとつの「希望」になることを願い、末永く活動を続けていきたいと思えます。次年度以降は、会員の増員とともに、里山の多面的機能を回復すべく、活動内容の一層の拡充を図っていきたいと考えております。